

科目名	校外研修 1							年度	2026
英語科目名	Off-campus Training 1							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	奥山 新吾	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		
<b>【科目の目的】</b> 実際の職場環境での実務経験を通じて、専門的な知識と技能を実践的に応用する能力を養うとともに、業界の動向と専門家とのネットワーキングを深め、職業倫理とチームワークの重要性を体験し理解することです。									
<b>【科目の概要】</b> 国内外の研修を通じて、実践的な知識や技術を修得します。									
<b>【到達目標】</b> 1 基本的適応 実際の作業環境での基本操作ができるが、指導がないと自立して作業を進めることが難しい。理論知識の応用が限られている。 2 中級適応 指示が少なくても実務に適応し、学んだ知識を一定の状況下で効果的に応用できる。基本的な問題解決が可能。 3 高度な適応 実務環境に完全に適応し、どんな状況でも自立して作業を効率的に進めることができる。複雑な問題に対しても独自の解決策を提案し、理論と実践を巧みに結びつける能力を示す。									
<b>【授業の注意点】</b> 通常授業時間外に実施する。参加費用が別途必要となる場合があるので、注意すること。校外に出での研修となるため、基本的なマナーを厳守すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	自立して効率的に作業し、複雑問題も解決。		指示少なく適応し、基本問題解決可。		基本操作可能だが、指導が必要。				
到達目標 B	自立して効率的に作業し、複雑問題も解決。		指示少なく適応し、基本問題解決可。		基本操作可能だが、指導が必要。				
到達目標 C	自立して効率的に作業し、複雑問題も解決。		指示少なく適応し、基本問題解決可。		基本操作可能だが、指導が必要。				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 各研修による									
<b>【参考資料】</b> 配布資料による									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 参加の取り組みおよび報告書の内容をもって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		校外研修 1			年度	2026
英語表記		Off-campus Training 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前学習	実習の事前準備を行う	1 調査・研究	事前に調査を行い、どのような実習となるか研究する	1	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8	現場実習	現場にて実習を行う	1 現場実習	現場での実習を体験する	2	
9						
10						
11						
13						
13						
14						
15	事後学習	フィードバックを行う	1 調査・研究	事前に調査を行い、どのような実習となるか研究する	1	

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等